

自動認識システム大賞「日本工業新聞社 社長賞」

テーマ:指紋認証式アミューズメントメダル預かり払い出し装置(メダルバンク)

技術分野名: 指紋認識

申請会社名: 日本ユニカ株式会社

ユーザ団体名: 日本ユニカ株式会社

システムの概要

指紋認証式アミューズメントメダル預かり払い出し装置(メダルバンク)は、誰もが手軽に利用出来る認証装置である。セキュリティ分野で広く利用されているバイオメトリクス(生体認証)技術の利便性に着眼し、アミューズメント施設という公の場で利用し普及させる事に成功した。

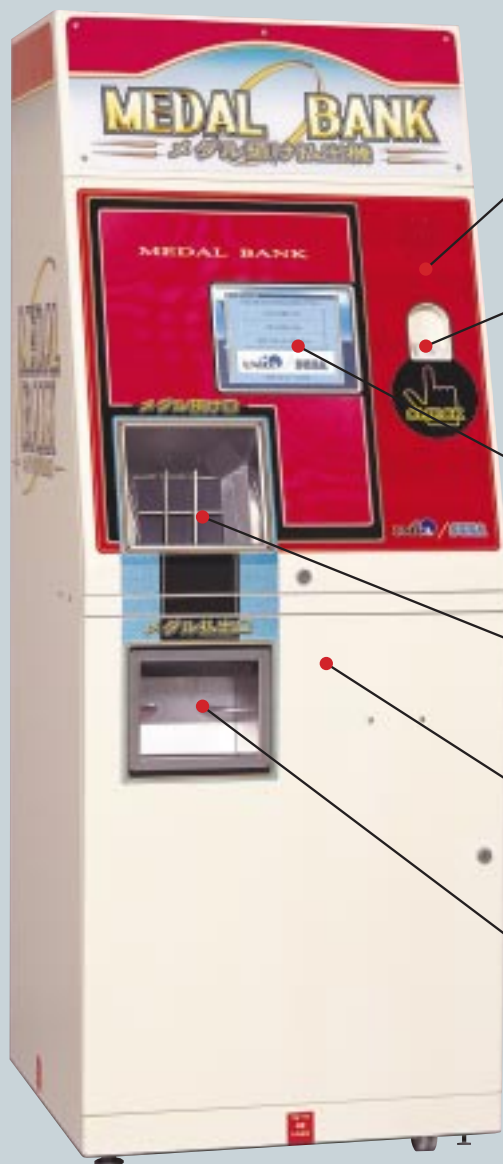
特徴

アミューズメント施設のゲーム機には、現金機とメダル機があり、メダル機は一定料金でメダルを貸し出しそれを用いて遊ぶものである。遊戯終了後には残ったメダルを預ける事で再来店時にまた使用する事が出来る。そのためには、住所などの個人情報を店員とやりとりする面倒な手続きがあるため、無理にでも使い切るケースが多い。しかしこの指紋認証を用いる事で、簡単に自分のメダルを預け払い出しする事が可能になった。これにより顧客の再来店率の向上に繋がる。

指紋認証の利用では、何かの行動を起こそうとする時に一定の制限をかけ、これを指紋認証で解除する。そして記録に残すという事が基本的な考え方である。記録が残されているという事で利便性とセキュリティが共存する事になる。

メダルバンクの普及は若年層(5歳~30歳代)を中心に400万人もの利用を促す事になり、指紋認証を自身の生活の中で当然の如く利用できるという概念ができた。近い将来において社会の中であらゆる場面において指紋認証を行う事を当然と意識する事が出来ることは、バイオメトリクス技術業界にとって大きな役割を果たしている。

● メダルバンクの機能



スピーカー

クリアな音質で音声ガイダンスを行います。

指紋照合ユニット

人体の指しか検出しない優れたもの。指紋の特徴のみを読み込みます。

タッチパネルディスプレイ

お客様自身が直接画面に触れて操作するタッチパネルディスプレイを採用。面倒なキー操作がなく、音声ガイダンスに従って簡単に操作できます。

メダル預け入れ口

3000枚までイッキに投入可能なパワフルさ。計数速度は30枚/秒。

メダルタンク

メダルタンクは大容量。25000枚を収容します。50000枚タイプ(オプション)もあります。

メダル払い出し口

高速払い出しでお待たせしません。払い出し速度は30枚/秒。

追加機能(オプション)

顧客情報の登録、顧客管理、売上げ管理など店舗運営に役立つ追加機能満載。

MEDAL BANK

メダルバンク

ゴーストメダルが見えてくる。メダルコーナーの稼動が分かる。

特徴

- 暗証番号と指紋照合で簡単・安心・確実にメダルが預けられます。
- 指紋は特徴のみを読み込みますので、お客さまのプライバシーを侵しません。
- 払出しは、預けた本人のみを特定できます。
- 有効期限、最大払出し枚数、払出し回数、預り払出し日などを、内部コンピューターが自動処理します。
- 記帳、署名などの煩わしさがなく、スマートでスピーディーなメダル管理ができます。
- 煩雑なメダルコーナーの運営を合理的にサポート。カウンター内のストックメダル計数、その内の預り枚数と回収メダルの比率などは、大変労力を使う作業なので、数字として集計しにくいのが現実でした。また、店内メダルサイクルを構築するためには、メダル持ち出しなどのロスを最小限にすることがポイント。メダルの持ち出しは、逆に預けにくい環境であったりしますので、預けやすい環境をつくれば、メダル店内サイクルに影響を及ぼさないことはもとより、リピーターをつくることにもなります。

